

マスコットキャラクター

『ふくまる』

2022年
12月号

地域とあなたと私を結ぶ定期便

Vol.60

ふくおすび

発行元:公益財団法人復康会 社会復帰事業部

〒410-0811 沼津市中瀬町17番11号 TEL 055-931-0510 FAX 055-934-1697

2



祭



11/9~11/11の期間、昨年に続き秋ふく祭(作品展示会)を開催しました。コロナ禍の影響でふくスポの開催が難しく、集まった委員で話し合い、昨年好評であった作品展示を今年も開催することになりました。「富士山」をテーマに各事業所から共同作品がメンバー、スタッフで話し合い作成され、コーポ狩野は唯一立体作品の出展でした。今年度の金賞は「かのん」でした。個人作品では絵画、折り紙、模型など様々な作品が展示されました。そして、初めてメンバーさんが演奏して録音したCDの出展もありました。会場で流すこともでき、とても良い雰囲気を出すこともできました。今後もコロナ禍においてどのような交流、企画が出来るか分かりませんがコロナに負けないように一緒に考えて行きましょう。

(秋ふく祭り実行委員長:大嶽哲也)



参加賞

ゆめワークのラスク



ゆめワーク

11/19(土)、伊豆の国市地域自立支援協議会 精神包括ケアシステム部会主催にて「メンタルヘルス懇話会」を企画・開催しました。福祉サービスの説明や現場での様子、サポートセンターなかせの鈴木センター長とピアスタッフ山崎さんによる対談を行いました。対談では山崎さんの発病から回復過程を聞き、“抱える悩みや辛さは一人ではない”と共感できる部分があったのではないのでしょうか。地域で安心して暮らせるよう、互いに助け合い素敵な関係を築いていけたらと思います。

(杉山 美幸)



ワークショップ まごころ

まごころ農園では秋野菜の収穫が最盛期を迎えています。今年は害獣除けの電気柵の効果や野菜の成長がよく、とても大きなサツマイモを収穫することができました。また里芋や人参、ラディッシュも順調に成長し収穫することができました。サツマイモは1か月寝かせることでさらに甘みが強くなるので、1か月後の出荷が今から楽しみです。

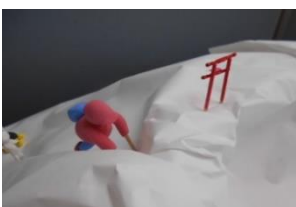
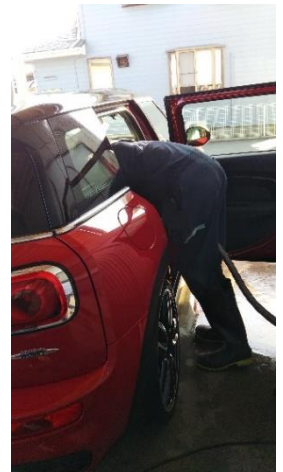
(上柳 光)



かのん

今回は「かのん」を今年6月に卒業し、一般就労された方の職場訪問の様子をお伝えします。会社見学・就職面接をスタッフと一緒に行ってから、3か月の障害者トライアル雇用が決まり、週4日の勤務で仕事を始めました。洗車や車部品の研磨作業等が主な仕事になります。3か月ごとに本人・職場の方々・かのんスタッフで仕事の振り返りを行い、11月の話し合いの際には職場の方々より「スキルも上がってきて現場はとても助かっている。真面目に仕事に取り組んでいる」と高く評価頂き、勤務時間も延長されました。本人も「とても働きやすい職場、長く勤めたい」と希望し、意欲的に仕事に取り組まれていました。

(杉山 智子)



コーポ狩野

今年の秋ふく祭のテーマは「富士山」でした。貼り絵など様々な案がありましたが、話し合っている間に「立体にしてジオラマ風はどうだろうか？」という事になり、集めていた発泡スチロールと紙粘土を使って作成しました。個人作品部門には、折り紙が得意な女性利用者さんが出展。彩よく箱に綺麗に詰め、ゴージャスな作品になりました。

(磯部 由香)

なかせ



サッカーワールドカップが始まりました。日本代表の結果はもちろん気になるのですが、サッカーにそれほど詳しくはない私が最も気になったのは VAR 方式。微妙なプレーについては映像チェックをして白黒はっきりと判定するものです。一見公平性がある良さそうに感じますが、試合の流れを一旦止めて確認をしなければならない（ゴールが決まっても喜んでいいのかどうか迷う）こと、曖昧さは一切排除され明確に線引きするような形は今の世の中を表しているように感じました。その場の雰囲気重要視し、曖昧さを甘受して楽しめるくらいのゆとりを持って不明瞭な日々を送りたいと思います。

(鈴木 伸二)



ひまり



11/17(木)、三島市における障がい者の虐待発生状況や虐待防止体制について協議する『令和4年度三島市障がい者虐待防止地域連絡会』が開催されました。その中で、虐待通報には至らなかったものの今後も虐待の恐れがあると思われる事例についてグループワークを行い『虐待を防ぐために自分たちにどのようなことができるのか?』などを、行政、民生委員、警察、相談員など様々な立場から意見交換を行いました。コロナ禍のため、久しぶりの虐待防止地域連絡会の開催となりましたが、顔を見ながら各機関と話をする有意義な時間となりました。このつながりを大切に、今後も虐待を未然に防げるよう努めていきたいと思っています。(伊藤 田恵子)



いとう

11月2日(水)伊東市健康推進課主催の、市民を対象としたゲートキーパー養成研修スキルアップコースが開催されました。臨床心理士の方を講師に、相談場面のロールプレイや相談窓口を紹介する内容です。相談窓口の一つとして、当事業所にも依頼があり事業紹介や実際にある相談内容などをお伝えしています。年齢層も幅広い24名の参加者の皆さんが真剣に聴いてくださっていることを感じながら、聴き手が知りたい内容を考えたり、伝わりやすい話し方の難しさを感じたりと、貴重な経験をさせていただきました。(石田 由貴)



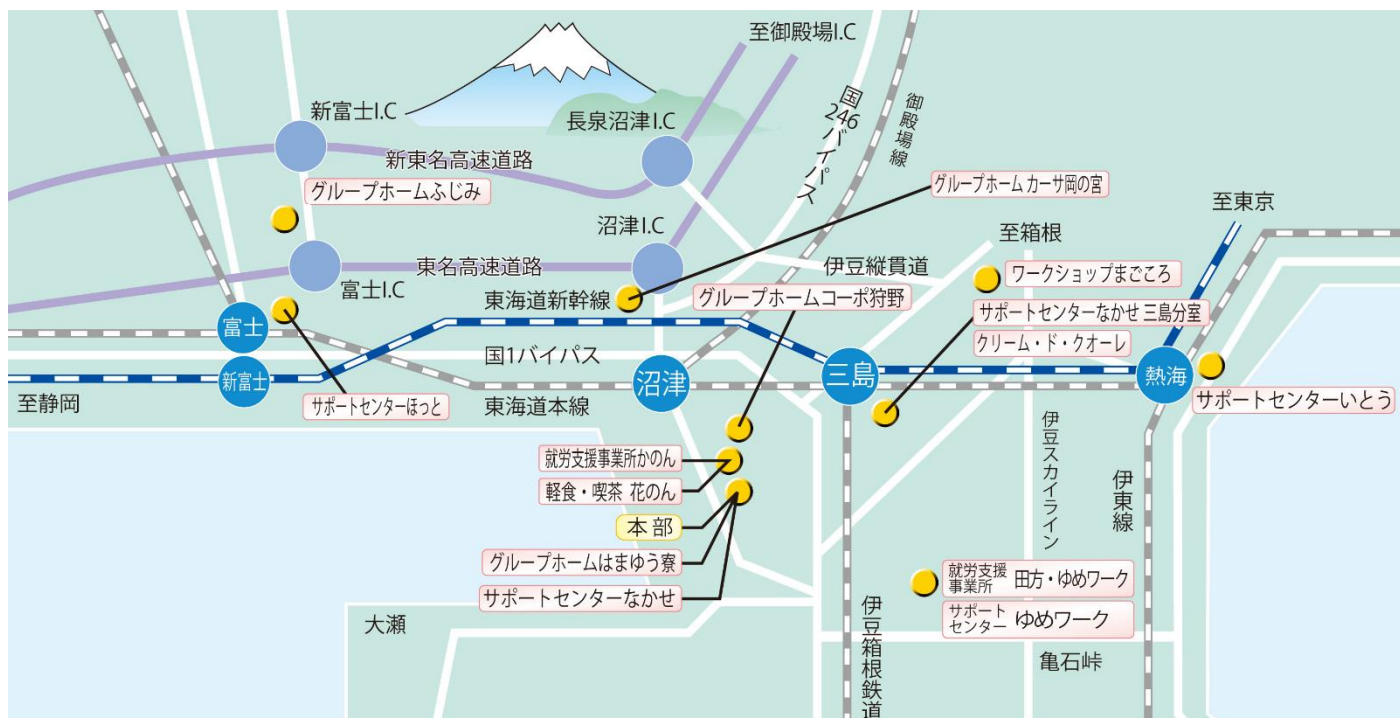
ほっと



11/19(土)防災イベント「富士 Bousai」が開催されました。

体験エリアでは地震体験車や煙体験ハウスが来ていたり、イベントブースでは防災用品や避難所生活のための道具を見たり触れたりできるようになっていました。講演会では、障害のある方の避難所生活の困難さや、東日本大震災の時に障害者の死亡率が高い地域があったこと等の話がありました。そのような事態を避けるために、避難訓練と同時に避難生活訓練の大切さなどのお話もありました。新しい発見がたくさんあるイベントに参加できて良かったです。生かせるところから取り組んでいきたいと思っています。(長谷川 真美)

社会復帰事業部施設MAP



サポートセンターなかせ 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680

サポートセンターいとう 熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル2F TEL0557-82-5680

サポートセンターゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

サポートセンターほっと 富士市日乃出町165-1 サンミック静岡ビル104 TEL0545-32-8160

サポートセンターひまり 三島市一番町7-19 高野ビル4F TEL055-991-1180

グループホームカーサ岡の宮 沼津市岡宮612番1号 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームはまゆう寮 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームふじみ 富士市厚原1138-6 ムーンビームス TEL0545-32-8160
(サポートセンターほっと)

グループホームコーポ狩野 沼津市中瀬町24番1号 TEL055-933-1038

就労支援事業所かのん 沼津市中瀬町19-20 TEL055-933-8500
(軽食・喫茶花のん) 沼津市中瀬町18-28 TEL055-933-8502

ワークショップまごころ 三島市字エビノ木4745-456 TEL055-985-2666
(クリーム・ド・クオーレ/作業所) 三島市一番町7-19高野ビル1F/2F TEL055-976-9000

就労支援事業所田方・ゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

編集後記

11月9日～11日、第2回秋ふく祭りが行われ、各事業所から力作が持ち寄せられ披露されました。期間も短く、コロナ禍で不特定多数の方に見て頂くことが出来なかったのが残念なほど、豊かな発想と個性あふれた作品ばかりで感心することしきりでした。

ふくむすび編集部